



学校評価特集号
平成27年3月
京都市立柏野小学校
校長 塩見考次

第2回 学校評価へのご協力ありがとうございました

二月初めに、今年度二回目の学校評価をお願いしました。お忙しい中、回答いただきありがとうございました。みなさまからの評価とご意見を集約、分析し、今年度の成果と課題として整理しました。回答率は83%（前回は77%）でした。

◎…よくあてはまる ○…どちらかといえばあてはまる △…どちらかといえばあてはまらない ×…あてはまらない
「◎」か「○」という結果が出た項目を、「達成している」項目と考えています。

保護者の方々に回答をお願いした評価項目		◎+○の割合
学校の取組について	① 学校は、教育方針や取組を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。	100→ 97%
	② 学校は、一人一人の子どもを大切にした学校づくりに取り組んでいる。	98→ 92%↓
	③ 学校は、様々な取組や行事を通して、家庭・地域と連携し、子どもの教育を進めている。	98→ 95%
	④ 教職員が熱意をもって教育を進めていることが保護者に伝わっている。	98→ 94%
	⑤ 学習の内容や進度を懇談会や学年・学級通信等によってよく知ることができる。	99→ 95%
	⑥ 子どものことについて学校に気軽に相談できる。	95→ 91%
	⑦ 教職員は、保護者や訪問者などにていねいに対応している。	98→ 96%
子どもについて	⑧ 子どもは、楽しく学校へ行っている。	99→ 97%
	⑨ 子どもは、しっかりとあいさつができる。	84→ 79%↓
	⑩ 子どもは、学習内容が理解でき、基礎的な学力が身についている。	94→ 90%
	⑪ 子どもは、自らの学習課題をもって、宿題など家庭学習を決められた時間（15分×学年）取り組んでいる。	76→ 71%↓
	⑫ 子どもは、家でも15分くらいは読書している。	45→ 27%↓
家庭で	⑬ 家庭では、早寝早起き、持ち物の用意など、基本的な生活習慣が身に付くようにしている。	89→ 85%
	⑭ 家庭では、子どもの話を受けとめ聞くようにしている。	98→ 93%↓

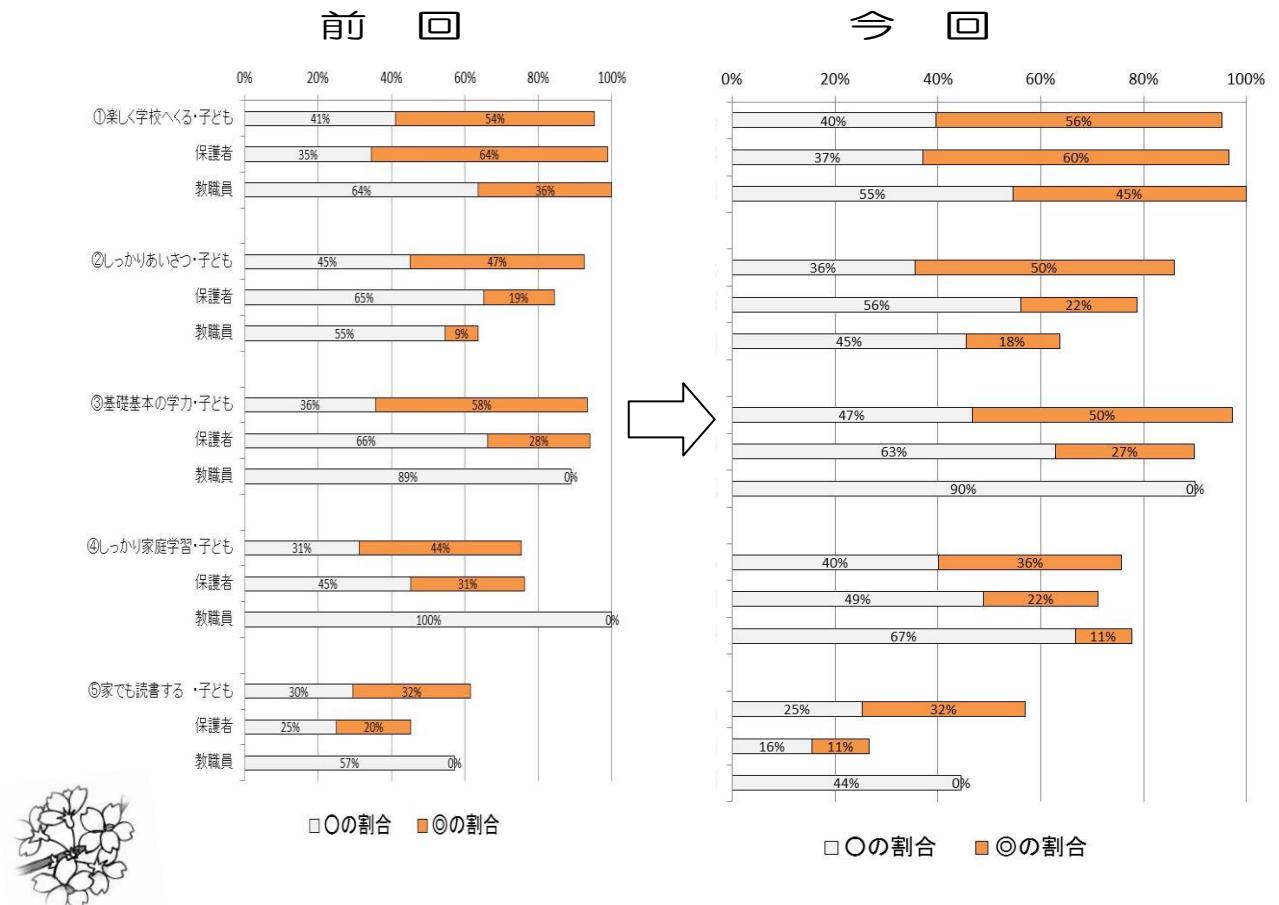
左側は前回7月の結果

* 「⑪家庭学習」「⑫家庭での読書」以外は、ほぼ8割以上の高い達成率でした。しかし、それぞれに少しずつですがポイントが下がったことが気になります。特に「⑫家庭での読書」については、初めて30%を切る結果となりました。

◆「子どもたちのようす」について … 代表的な5項目の結果を比較
この5項目は、子ども・保護者・教職員の評価に共通する内容の項目です。

項目の主旨	◎+○の割合 左側は前回		
	子ども	保護者	教職員
①楽しく学校へきている。	95→ 95%	99→ 97%	100→ 100%
②しっかりあいさつしている。	93→ 86%↓	84→ 79%↓	64→ 64%
③基礎・基本の学力を身につけている。	93→ 97%	94→ 90%	89→ 90%
④しっかり家庭学習に取り組んでいる。	75→ 76%	76→ 71%↓	100→ 78%↓
⑤家でも15分くらいは読書している。	62→ 57%↓	45→ 27%↓	57→ 44%↓

5ポイントを超える変化に↑ ↓



◆楽しく学校へきている

教職員の方は前回より◎の割合が増えましたが、子どもたちの方は95%で横ばいです。達成率(◎+○)100%になるよう、今後も、△や×をつけた数名の子どもたちをはじめ一人一人にしっかり着目し、「みんなが楽しい学校づくり」を目指します。

◆しっかりあいさつをしている

子ども自身と保護者は前回より下がりました。教職員は、○の割合が増えました。ここには出でていませんが、学校運営協議会委員の方々にお願いした評価項目「子どもたちは、自分からしっかりあいさつできていますか。」では、7月の50%から67%へと達成率が上がりました。校内では、今年度の行事などで多くのお客様が見え、柏野の子どもたちの挨拶を褒めていましたが、家庭や地域ではまた違うのでしょうか。今後も、自然に気持ちのよいあいさつができるよう周囲の大人が手本を示していきましょう。



◆基礎・基本の学力を身につけている

三者とも90%以上の達成率です。その中で、子どもの結果はやや上がり、保護者の結果はやや下がりました。子どもにとっては、「先生と一緒にする勉強はよくわかりますか」という質問内容で学力の評価ではありませんが、学習の楽しさ、達成感や成就感を表しているでしょう。来年度も、少人数の特性を生かし、実態に合わせたきめ細かい指導を行います。また、毎日行っている放課後まなび教室、家庭学習と連携して、すべての子に基礎・基本の学力がつくよう努力を続けていきます。

◆しっかり家庭学習に取り組んでいる

三者とも70%台にとどまり、保護者と教職員の結果が大きく下がりました。年度途中に比べて年度末に下がる傾向が、ここ数年続いていますので、年間を通して家庭学習への意識をしっかりと、取り組んでいきましょう。家庭学習は学力向上のとても大きな要素です。



◆家で読書している

なかなか評価結果の数値が上がらない「家庭での読書」です。評価項目の表現に「15分くらいは…」という時間設定をして二年目ですが、依然として半数近い子が15分さえも本に向かってないという事実です。学校では、図書室環境の整備、図書支援員の配置、マムマムの日、ノーテレビノーゲームデー、読書週間、読書マラソン等々、環境整備は例年にもまして取り組みを続けています。ご家庭でも本に親しむ時間や機会を意図的につくることを心がけてください。

そこでお願いです。お子達は、保護者の方がまだ帰宅されていないときに、読書しているのかかもしれません。そこを確かめてチェックをお願いします。

●他の評価結果より・・・

学校教育目標の具体的テーマ、①「わたしが（も）します」と言える子についての評価結果は、子ども61%→52%，教職員82%→73%どちらも下がりました。子どもたちの行動にないぶんと手応えを感じただけに残念です。②「何かわたしに（も）できることはありますか」と言える子については、子ども50%→47%，教職員55%→45%という結果でした。子どもたちに育てたい資質として、今後もじっくり取り組んでいきます。

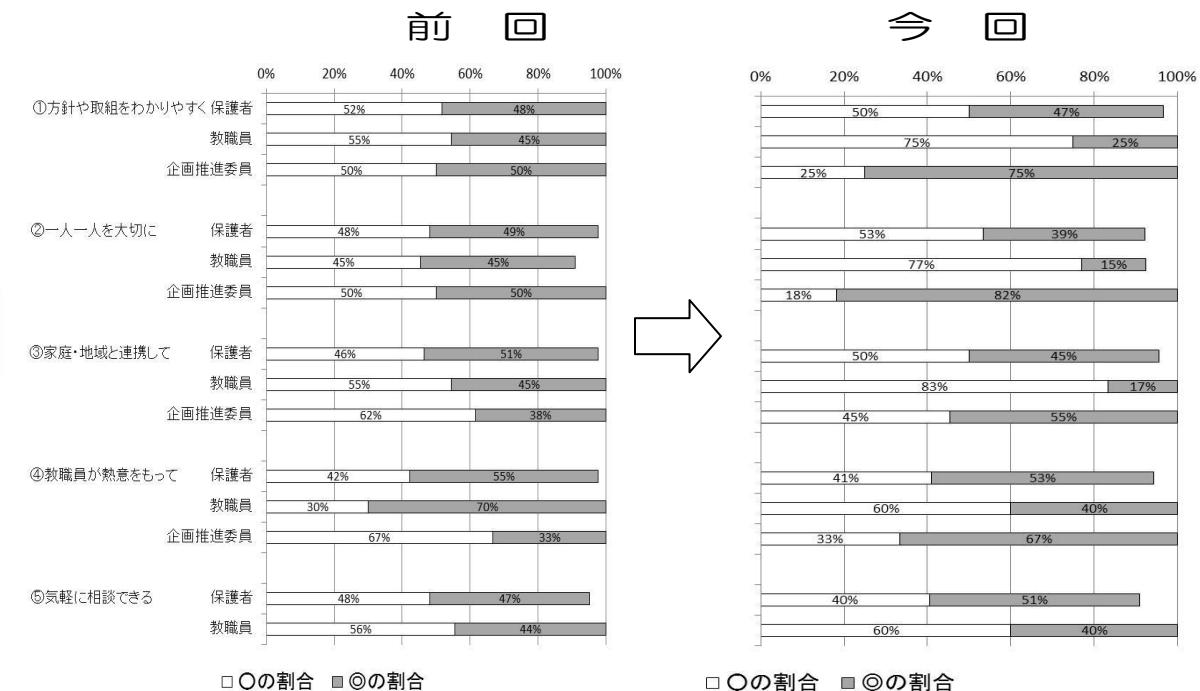
子どもたちの評価では、15項目中6項目の結果が下がりました。そんな中で唯一上がったのは、「早寝・早起きなど規則正しい生活がおくれているか」という項目でした。達成率84%であり、ご家庭の指導が生きていると思います。

◇「学校の取組」について … 代表的な5項目の結果を比較

この5項目は、保護者・教職員・企画推進委員の評価に共通する内容の項目です。

5
ポイントを超える変化に
↑ ↓

項目の主旨	◎+○の割合		左側は前回	
	保護者	教職員	企画推進委員	企画推進委員
①方針や取組をわかりやすく伝えている。	100→ 97%	100→ 100%	100→ 100%	100→ 100%
②一人一人の子どもを大切にした学校づくり。	98→ 92% ↓	91→ 92%	100→ 100%	100→ 100%
③家庭・地域と連携して教育を進めている。	98→ 95%	100→ 100%	100→ 100%	100→ 100%
④教職員が熱意をもって教育を進めている。	98→ 94%	100→ 100%	100→ 100%	100→ 100%
⑤子どものことについて気軽に相談できる。	95→ 91%	100→ 100%		



◆どれも90%以上の達成率がある中での推移です。学校の取組の方向や内容を概ね評価いただいたものと考え、教職員一同、今後の励みとしていきます。ただ、保護者の評価が、少しではあるもののすべて下がっていることを真摯に受け止めていきます。中でも、②「一人一人を大切にした学校づくり」の項目が、最も大きく下がったことに注目し、改善策を検討していきます。

記述欄には、保護者の方から担任の取組に対する感謝や激励の言葉もいたしました。また、学校運営協議会の企画推進委員（今回12名の方がご回答くださいました）からは、学校の取組に関して「一人一人をよく見ている」「地域の方への教職員の対応が気持ちよい」というお褒めの言葉をいただきました。来年度も、保護者や地域の皆様と一緒に柏野教育を発展させていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。